



シルバーとなみ

第 49 号

令和 5 年 1 月 発行

発行/公益社団法人

砺波市シルバー人材センター

砺波市高道217の2

TEL/0763-33-4341

FAX/0763-33-5854

HP/<http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



ふれあい



題 字/吉田 正暉

表 紙/横川 紗代

新年のごあいさつ



理事長
飯田 修平

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

さて、砺波市シルバー人材センターは、令和3年10月に設立40周年を迎えましたが、新型コロナウイルスの影響で、記念式典を延期せざるを得ませんでした。

新たな式典の開催日を令和4年6月10日とし準備を進め、正直申し上げますと、コロナ禍により、土壇場に追い込まれるような心境が続きましたが、お陰様で予定のとおり40周年記念式典を開催することができましたことは、本当にうれしく思っております。そして、会員の皆様方や関係者諸氏のご協力により、成功裡に終えることができましたことに重ねて感謝を申し上げます。

また、去る10月14日に庄川清流パーク場において、パークゴルフ交流大会を開催しました。コロナ禍で、会員相互の親睦を図るための互助会事業計画が中止、又は延期という事態が続いていましたが、何とかここで会員の皆様の同意を得て実施することができ、盛況のうちに終えることができ大変良かったと思っております。

当面するシルバー人材センターの課題の中で、特に大きな問題となっているのは、インボイス制度導入によるセンターが支払う消費税の捻出であります。この制度への対応については、全国シルバー人材センター事業協会とも一丸となって、シルバーに対する制度の特例的な取扱いについて強く要望を重ねてきましたが、令和5年10月の制度開始まで1年を切ったところで、制度化を改正してシルバー人材センターを特例とすることは困難な状況であるとし、悲観的な結論に至りました。シルバー人材センターの会員の大半は免税事業者ですから、インボイス制度導入により、センターが負担する納税額が大きく膨らみ、事業運営に多大な影響が及んでいきます。その対応策にセンター会員の対価を減らすことが想定されますが、対価減額ではやる気がそがれるばかりか、退会者の続出をも招きかねず、シルバー事業の衰退につながるおそれがあります。

地域に少なからず貢献しているという仕事への動機づけ、「生涯現役社会」の実現のためにも絶対に避けなければなりません。インボイス制度が予定どおり実施されるという前提で、対応策等について検討を進めたいと考えております。

結びになりますが、シルバー人材センターを取り巻く環境はいつそう厳しくなると思いますが、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願いするとともに、健康で生き生きとご活躍されますこと、並びにご家族の皆様がご健康・ご多幸でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます。

理事長 飯田 修平
副理事長 安念 幸彦
専務理事 今井 潔
理事 杉本 健三
理事 川辺 知秀

監事

吉川美栄子 澤田 賢一 中居 洋 田嶋 道夫 川渕 久士 橋場 昌剛 北市 昌昭 有澤 健四 安念 政博 村井 一仁
互助会役員 同
職員一同

「パークゴルフ交流大会」の開催

10月14日（金）午前8時30分からシルバー人材センター会員互助会が主催の「パークゴルフ交流大会」を開催しました。お天気にも恵まれ41名が参加し、グループ別にホールを回りました。日頃から練習を重ねている方から初心者までハンデを付け、皆さん和気藹々とプレーしていました。

プレー終了後、順位発表を行い、男女別に1位から5位まで、当月賞やラッキー賞、BB賞など豪華景品も多数用意され、表彰式は皆さんの笑顔が見られました。



上位の結果

☆男性☆

- | | | | |
|----|---------|----|---------|
| 1位 | 高桑 義則さん | 2位 | 池田 眞澄さん |
| 3位 | 藤井 治さん | 4位 | 林 忠行さん |
| 5位 | 大島 勲夫さん | | |



☆女性☆

- | | | | |
|----|---------|----|---------|
| 1位 | 吉藤 幸子さん | 2位 | 上野 睦子さん |
| 3位 | 齊藤一二三さん | 4位 | 折橋登美子さん |
| 5位 | 長崎 久子さん | | |



「馴染みふれあい店」の開催

「馴染みふれあい店」は会員の方が自宅で丹精込めて育てた野菜や果物、手作りの手芸品、木工品、自宅で眠ってる遊休品などを持ち込んで、会員自らが販売するシルバー版「朝市」です。

令和元年から始まったこの朝市ですが、年々出品する会員の方も増え、販売実績も増加しています。今では「安くて新鮮！」ということで市民のリピーターも多く「品物がなくなって店じまい」ということも。

また、買い物は誰でもOKですが、出品に関してはシルバー人材センターの会員のみということになっており、このお陰で「朝市に家でとれた野菜を出品するから入会したい！」という方や「シルバーでは思うように働けなくなってきたけど、家で作った野菜を持ってくることならできるわ」ということでシルバーでの新しい活躍方法を見つける方もいらっしゃいます。

1月から3月までは収穫できるものが少なく、足場も悪いため毎月第2・第4火曜日に営業しています。皆さんもぜひお店を覗きにきて、お買い上げ、出品してみてください。



配分金 支払い日案内

令和5年

- 1月16日(月)
- 2月15日(水)
- 3月15日(水)
- 4月17日(月)
- 5月15日(月)
- 6月15日(木)

就業相談会のお知らせ

期日 2月14日(火)
午後2時～4時

場所 砺波市シルバー
ワークプラザ

今年度最後の相談会です。
就業に対する疑問、ご要望などお聞かせください。

安全だより

令和4年度の安全・適正就業推進計画では、事故件数削減の数値目標として「傷害事故は、前年度の8割減、賠償責任事故は5割減」を目標に安全就業の徹底に努め、毎月実施している安全パトロールでは、特に危険度の高い草刈・剪定作業に携わる会員の身を守るため、安全保護具着用、刈払機・三脚脚立の正しい使用の徹底に努めてきました。また、飛石事故が多い現場では防護ネットの活用にも取り組んでいます。

今年度の事故発生状況は、傷害事故4件となり、昨年に比べ減少していますが、作業を終え刈払機を担いで林道を帰る途中に、バランスを崩し、転倒し足首を骨折し、手術・入院を伴う重篤な事故が発生しました。

賠償責任事故は残念ながら昨年度の件数を上回り6件となり、多くが刈払機による飛石事故で、その内容は、田の畔草刈りを実施している最中、防護ネットが活用しにくい走行中の車に石が飛んでガラスを破損させるという事故です。

事故件数の削減には何よりも会員一人ひとりが安全就業への自覚を持つことが重要であり、全会員、役職



員が一体となって取り組むことが必要不可欠です。

1月から3月における怪我は転落と交通事故によるものが多く、特に、冬季においては路面の凍結や夕暮れが早く視認性が悪いことによる交通事故の発生が懸念されます。路面の凍結によるスリップ事故や、バイク・自転車による転倒事故の発生も懸念されます。時間に余裕を持って行動するなど、安全対策の徹底を図り健康に冬を乗り切り、来る春に備えましょう。

対前年度事故件数比較表（12月末現在）			
区分	3年度	4年度	増減数
傷害事故	9	4	-5
賠償事故	5	6	+1
合計	14	10	-4

ポイントカードの有効期限が迫っています！

新規会員・新規発注者の紹介、総会・各種講習会・清掃奉仕・互助会行事等への参加、地区連絡委員・職群班長等事業運営への協力に対しポイントを付与し、一定のポイント獲得者に粗品を進呈することで、新規会員・新規発注者の拡大並びに会員の各種講習会及び行事等への参加率向上を図ることを目的とした、ポイントカード制度ですが、有効期間が3月末となっています。

令和3年度は、30名（延べ38名）の方が15ポイントを獲得し粗品を進呈しました。

今年度も残り3か月となりました。あと少して15ポイントがたまりそうという方は、「馴染みふれあい店」への出品、まだまだという方は新規会員紹介で一気に10ポイント獲得。ぜひ15ポイント獲得にご活用ください。

ポイントの対象事業	点数
新規会員紹介（登録された場合）	10点
新規受注者の紹介（成立の場合）	10点
新規事業の発案（事業化された場合）	10点
班長業務（1年度あたり）	4点
地区連絡委員（1年度あたり）	4点
総会に出席	3点
清掃奉仕活動への参加	3点
就業相談会への参加	3点
各種講習会への参加	2点
各種互助会行事への参加	2点
馴染みふれあい店に出品（1回毎に）	1点
アンケート等への協力	1点
地区連絡委員の配布物送達	1点

あしがき

私のパークゴルフとの出会いは、平成24年3月砺波市パークゴルフ協会設立時、友達より誘われ入会しました。当時、砺波市内にパークゴルフ場がなく、主に富山市山田村福楽パークゴルフ場で練習及び大会を開催していました。

パークゴルフは健康でルール、マナーを守り楽しく会員相互親睦を図ることを目的としています。

平成27年8月に待望の砺波市パークゴルフ場がオープンし、受付業務は協会員がシルバー人材センターに登録して行っています。

受付業務を担当して感じたのは、パークゴルフ愛好者に夫婦で入会している人は他の生涯スポーツに比較して非常に多く、楽しまれています。趣味が同じで二人が健康でお互いに尊重しあい楽しく生活して円満な家庭を築いておられると思います。私も今後も健康に留意し未永く会員の皆様とパークゴルフを楽しみたいと思います。

最後にシルバー人材センター会員の皆様にとって新しい年が良い一年でありますように祈念いたします。

（広報委員 中居 洋）